

湖畔

発行：医療法人十全会広報委員会

所在地：高知県土佐郡土佐町田井 1372

電話：0887-82-0456 (代表) FAX：0887-82-0459

ホームページ <http://juzen-kai.or.jp/>



生き生き会 総会開催

レイクビューさめうら家族会「生き生き会総会」が、4月8日(土)午後2時からレイクビューさめうら5階会議室で行われました。ご出席くださった役員及び会員の皆様には、年度始めの、また農繁期前の大変お忙しいなか、ご出席いただきましてありがとうございます。

最初に霊山会長から、ご挨拶があり、その後、職員紹介を行い、引き続き、会員の方々より自己紹介をしていただきました。

そして①平成28年度の事業、決算、監査の報告並びに質疑応答。平成28年度の事業報告では年間行事として利用者様に季節を感じたり思い出話で盛り上がったこと、ことうと、イタドリ皮むき、ぜんまい揉みなどしていただいたこと、また、昨年は初めて二胡の演奏やプロのクラリネット奏者やジャズピアノニストに訪問いただき、素晴らしい演奏を聞いたことなどを報告しました。

②役員改選については、会長川井由紀様、副会長2名は伊藤資子様、三谷えり子様にご決定しました。

監査は霊山泰彦様、秋山浩之様、幹事は長瀬明廣様、岩崎悦子様、加藤八巳様、山中順子様にご務めていただくことになり、新会長の川井様にごあいさつをいただきました。

③平成29年度の事業計画、予算案についての質疑応答、年間行事については家族会として行事に協力することなどを決定しました。

総会の後、レイクビューさめうら坂本理学療法士による研修会「予防 介護教室」で体操を行いました。体操のあとは、コーヒート栄養科の手作りのお菓子を食べながら意見交換をしていただきました。



▲予防介護教室の様子



▲パッケージも手作りしました

楽しいひな祭り

レイクビューさめうらでは3月2日ひな祭りを行いました。ひな祭りの踊りには利用者様にも参加していただきました。

職員が本格的な衣装を身に付けているのを見て喜ばれ、一緒に写真を撮ることを希望する方も多くおいでました。昼食には海老やマグロの手毬寿司を



楽しんでいただきました。2月3日今年も節分に無病息災を願って豆まきをしました。

節分の豆まきをしました

赤鬼・青鬼、緑と利用者の方々はいっせいに豆を投げつけます。

普段あまりレクリエーションに参加されない方や体を動かす機会の少ない方も、鬼の姿を見ると、一変し、鬼と対決されました。



この体験は、職業意識の向上や知識をもつていただくことができました。

高校生対象に職業体験

早明浦病院は3月13日～15日にかけて、嶺北高校の生徒2人を対象に職業体験を実施しました。看護師体験は佐賀野さん、薬剤師体験は黒岩さんで、職員が仕事に取り組み姿勢を間近に見ていただきました。

体験中は入院中の患者さんや職員と触れ合う機会がたくさんありました。コミュニケーションの難しさを感じられたようでしたが、清楚で愛らしい2人に出会えたことで、患者さんや職員ともに楽しい時間を持つことができました。

ふきの葉の当座煮

しばらく(当座)の間だけ濃い味付けの煮物を当座煮といい、昔からの智恵の詰まった一品です。

<作り方>

1. ふきの葉はきれいに洗い、熱湯でゆでて水に取ります。1～2時間水につけ、途中2～3回水をかえながらアクを抜きます。
2. チリメンジャコはざるに入れ、熱湯を回しかけて水気をきります。
3. 1のふきの葉の水気を絞り、細かく刻みます。鍋にサラダ油を熱し、ふきの葉を入れて炒めます。
4. 火がとおればちりめんじゃこを入れ、酒、しょうゆを加えて炒め合わせます。冷蔵庫で2週間くらい保存できます。

【栄養科】



地産地消レシピ

<材料>

- ふきの葉……150g
- チリメンジャコ……20g
- サラダ油……大1
- しょうゆ……大2
- 酒……大1・1/2

めこの機会でした。2人とも目指した道に進みたいと体験後の感想をいただきましたので、進路決定に役立つことができましたことをうれしく思います。これから勉学に励み目的の資格を取得されたら、ぜひ早明浦病院と一緒に働きましょう。(看護部長 河野)

消防訓練実施

2月15日(水)

医療法人十全会では、嶺北消防署のご協力をいただき平成28年度第1回目の消防訓練を実施。



震度7の南海トラフの地震により、院内各所に被害が発生、1階厨房附近からの出火を想定した消防への通報、消火、避難、災害対策本部の設置と同本部への被害状況の報告などを実施しました。その後、消防署員から消火器の取り扱い方法の説明と、シミュレーション装置を使った消火訓練を行いました。

第2回目の消防訓練は、3月15日(水)、嶺北消防署の高橋係長を講師に講演会を開催。年々発生確率が高まっている南海トラフ巨大地震を見据え、災害時の救護病院である当院は、地域住民の多数の避難が見込まれるため、職員も法人も災害への備えが大切であるといったお話がありました。終了後、県の起震車で、南海地震、阪神淡路大震災、東日本大震災など、実際に発生した地震動を体感。縦、横の大揺れの、巨大な地震エネルギーに圧倒された1日となりました。



リハビリテーションワンポイント講座

膝関節症の予防

今回からは膝関節症についてお話ししていきます。膝関節症は女性に多くみられ、高齢者になるほど罹患率は高くなります。主な症状としては膝の痛みと水がたまることです。はじめは立ち上がり、歩きはじめなど動作の開始時の痛み、休め痛みがとれますが、中期になると

正座や階段の昇降が困難となります。末期には安静時にも痛みがとれず、変形が目立ち膝を真っ直ぐ伸ばせず歩行が困難になります。今回はその原因について説明していきます。



【リハビリテーション科】

想い出のアルバム

あの日のあの時



門田 能傳子様 老健5階入所
昭和8年11月5日生 83歳

51

大豊町西峰大畑井、徳島県境近くの生まれ。姉弟は5人。どの家にも5〜6人、10人以上の兄弟の家もあり、子供が多かった。30〜40cm以上の雪は、普通。坊主頭とオカッパの子供達は、皆青鼻を出しながら、母の手作りやお下りの半纏やソウタを着、青鼻を拭いた袖口はいつも黒光りしていた。小学校時代はかなりやんちゃでクラスのボスのような存在だった。男子、女子共に、いろいろ命令し従わせて遊んでいた。自分たちでキンマ(そり)、竹スキーを作り、暗くなるまで遊び、夜は囲炉裏を囲み、串刺しのイモ(ジャガイモ、里イモ)を食べながら暖をとった。四季に応じ、竹トンボ、つき鉄砲、風車遊び、野山をかけ登り、野イチゴ、アケビ、山ブドウ、友達と競い合い、山菜もいっぱい採った。坊主頭の子達は、蜂の巣あれば顔を腫らしながら、蜂の子とり。鳥の巣があれば、子鳥を家で飼っていた。自然



ぜんまいの匂ひする手に舞扇
野苺を口に含んで青い空
夾竹桃 幼き容を 駈に待つ
(平成4年大豊町発行「ともしび」掲載)

の山は遊びの宝庫。懐かしく、愛おしい思い出だ。20才で見合った結婚し、教師だった夫と3人の子供で夫の赴任先の嶺北を転々とし、色んな方にお世話になった。本が大好きで特に佐藤愛子さんの小説、エッセイを愛読した。演歌も好きで小林幸子の「雪椿」で踊るのが大のお気に入り。また、氷川きよしの大ファンだった。夫の定年後は、豊永駅近くの住居で、大好きな犬と散歩し、夫と好きな酒を嗜んだ。子供3人と孫の帰省を心待ちにしなが、趣味の俳句・踊りをしながら、穏やかな日々を過ごしていた。





作：ゆずボンかけ太郎



早明浦歌壇・俳壇

春愁のひとつ 昂たげとの別れ

くろもじの花芽にかかる 今朝の雪

竹林の うねりうねりて 春疾風はやて

資子様

雪の朝 屋根につくほど たわむ竹

戸を開けてあらまあまあの 雪の朝

夜明け前 春一番を 聞いている

大久保 幸子様

● 次回夏号は7月発行です ●

紹介員
 廣瀬 松子 看護師
 平成12～13年、18～19年とお世話になりました。そして、両親が、高齢となり、10年後にまた、早明浦病院にお世話になることが決まり地元を特老で働いていました。外来の仕事は久しぶりなので、覚えることも多く、大変です。一生懸命努力していきますので、よろしくお願致します。



川村 裕二 管理員
 1月から管理員として勤務させて頂いており、2ヶ月が過ぎ少しずつ仕事にも慣れてきておりますが、何分以前とは違う業界というところもあり、経験不足などところもあるかと思っております。1日でも早く皆様のお役に立てるように努力していきたいと思っております。また仕事を通して、地域に貢献できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。



病院の桜に沢山の花が咲きました
 お花見で記念撮影、素敵な笑顔が見られました。

● さめうらギャラリー ●

<2月開催> 並川安子様パステル画展
 <3月開催> さめうら絵手紙教室展